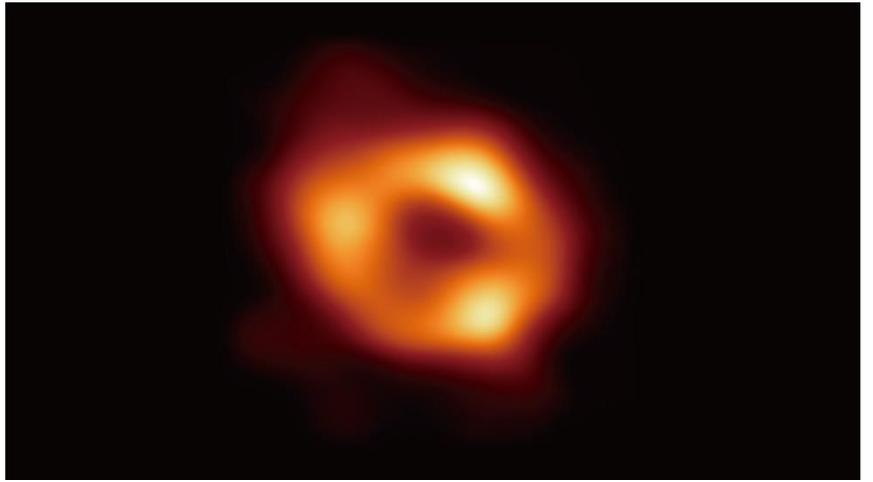




きんきゅうそくほう  
緊急速報

## 銀河系中心の巨大ブラックホールが捉えられる!

2022年5月12日、世界7か所で銀河系中心のブラックホールについての記者発表が行われ、同時に画像が公開されました。発表は「イベントホライズンテレスコープ」(EHT: 事象の地平線望遠鏡) という地球上8か所にあるアンテナを結び付けたシステムで、2017年4月に得られたデー



史上初めて画像化された銀河系中心のブラックホールの姿。太陽の400万倍もの重さがあり、高速で自転しているためやや楕円形をしていると考えられています。  
クレジット: EHT Collaboration

タを世界中の研究者が慎重に分析した結果です。画像が得られるのはM87銀河の超巨大ブラックホールに次いで2例目です。

いて座の方向、およそ2万7千光年かなたの銀河系の中心に、強力な電波を発する「いて座A」と呼ばれる天体があります。その中で最も強く電磁波を放射する部分を「いて座A\*」(「Aスター」と発音します。)といいます。スターといっても普通の星ではなく、ブラックホールそのものです。画像は、強力な重力によって曲げられた光を捉えたもので、中心の暗い部分は「シャドウ」と呼ばれています。現在、ブラックホールがどうして出来たのか? 銀河の形成や成長にどのような役割を果たしたのか? ほとんど分かっていませんが、徐々に解き明かされていくことでしょう。

まるちたいけんどうもだより、2020年6月26日号①、②、③、④でブラックホールについて詳しく紹介しています。また、星空解説の中でもふれていきたいと考えています。

2022年5月13日記 (解説員: 田部 一志)